（参考様式２）社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年9月28日

計画の名称	八戸市における循環のみちの実現(重点計画)	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　(5年間)	交付対象	八戸市

計画の目標

下水道整備を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道区域内普及率を64.7%(H28当初)から74.9%(H32末)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)	備考
①下水道区域内普及率 処理人口（人）／下水道区域内行政人口（人）	64.7%	71.4%	74.9%	

全体事業費	合計（A＋B＋C＋D）	8,806百万円	A	8,806百万円	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	0.0%

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
東部処理区（単独公共）																			
A1-1-1	下水道	一般	八戸市	直接	八戸市	分流汚水	新設	東部処理区幹線及び枝線管きょ	汚水管φ100～300mm L=19,300m	八戸市						1,125		－	
A1-1-2	下水道	一般	八戸市	直接	八戸市	分流汚水	全種	東部処理区調査・設計等	管きょ設計 L=20,000m	八戸市						394		－	
A1-1-3	下水道	一般	八戸市	直接	八戸市	水セ	増設	東部終末処理場(水処理施設)	最初沈殿池、反応タンク、最終沈殿池、上屋等	八戸市						4,990		－	
A1-1-4	下水道	一般	八戸市	直接	八戸市	水セ	全種	東部終末処理場(汚泥処理施設)	汚泥処理施設設計等	八戸市						22		－	
馬淵川処理区（流域関連）																			
A1-2-1	下水道	一般	八戸市	直接	八戸市	分流汚水	新設	馬淵川処理区幹線及び枝線管きょ	汚水管φ150～300mm L=28,400m	八戸市						1,845		－	
A1-2-2	下水道	一般	八戸市	直接	八戸市	分流汚水	全種	馬淵川処理区調査・設計等	管きょ設計 L=26,700m	八戸市						430		－	
小計																8,806			
合計																8,806			

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
合計														0			

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）	備考
合計														0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）	備考
合計														0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

（単位:百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	323	428			
計画別流用 増△減額 (b)	0	14			
交付額 (c=a+b)	323	442			
前年度からの繰越額 (d)	456	220			
支払済額 (e)	559	421			
翌年度繰越額 (f)	220	241			
うち未契約繰越額 (g)	26	5			
不用額 (h = c+d-e)-f	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c)+d)	3.34%	0.76%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	－	－			

※　平成２８年度以降の各年度の決算額を記載。